

福生青年会議所広報誌

FussaExpress

JCI <http://fussajc.com/>

2010
01

現在、失業率が過去最高にまで達し、就職難に悩める人々、仕事が少ない生活に苦しむ人々は、私たちの住む地域にも数多くいる深刻な状況です。心の悩みを抱えて生きる望みを無くしてしまい、自ら命を絶つてしまう人々も年々増え続ける一方であります。



入江つとむな奴うそれを知っていたたくには、本年の理事長所信を一読していただくが、ベストな方法だと思えます。下記に一部抜粋させていただきます。

「暗闇の中を、新日本の再建は我々青年の仕事である」と「英知」と「勇氣」と「情熱」を持って東京青年会議所(現在の社団法人 東京青年会議所)が日本に誕生致しました。当時の日本の再建を担い、青年たち



大きな力であること確信致しました。苦に徹すれば必ずあること(吉川英治)という言葉があり、現状の苦難を乗り越え、波乱万丈の人生を生きていくことを、本当の深き幸福もある

が立ち上がった在野の様に、現代に即した新しい価値を見出し、地域社会の再建を誓い、思い行動を起して行く事こそ我々の使命であり、なかなか受け継がれた青年会議所の信念だと思えます。

青年会議所活動に加え他団体の活動、全てを理想通りに実行し、勝ち取る。！と思いを行動に起こせたら、どれだけ価値があるのでしょうか。そこで誇りを持つべきだと思います。時間や経済的に恵まれない組織では活動の出来ない組織では発展の限界があります。活動において何らかの犠牲を払っている事も現状だと思います。しかし、犠牲を払ったか、自身の成長と心の豊かさを得たか、それはどうでしょうか。それは、犠牲ではなく、人生をより豊かに歩めるように努力することです。



入江 誠一

第33代理事長

「志」一人ひとりが情熱を持って、本年度のローガンとして掲げられた33年間の「志と情熱を持った先駆者が築き上げた志を時代に応じた感性で新たな志を掲げ、メンバーと共に進んで行く」と思っています。また航海ははじまりました。この1年間、地域の皆様からのご指導とご鞭撻を賜ります事、心よりお願い申し上げます。

理事長の言葉

「志」一人ひとりの情熱を持って

私たちの使命とは、この深刻な現状を打開して経済の安定と一人ひとりの心の豊かさを取り戻すの、時間のかかる事だと思えます。しかし、私達の国は、世界に誇れる価値観と創造性を兼ね備えた誇り高い日本国です。戦後の混沌とし

が立ち上がった在野の様に、現代に即した新しい価値を見出し、地域社会の再建を誓い、思い行動を起して行く事こそ我々の使命であり、なかなか受け継がれた青年会議所の信念だと思えます。

青年会議所活動に加え他団体の活動、全てを理想通りに実行し、勝ち取る。！と思いを行動に起こせたら、どれだけ価値があるのでしょうか。そこで誇りを持つべきだと思います。時間や経済的に恵まれない組織では活動の出来ない組織では発展の限界があります。活動において何らかの犠牲を払っている事も現状だと思います。しかし、犠牲を払ったか、自身の成長と心の豊かさを得たか、それはどうでしょうか。それは、犠牲ではなく、人生をより豊かに歩めるように努力することです。

開催日 2010年2月12日(金曜日)
時間 18時30分登録開始 19時00分開会 21時30分閉会予定
会場 羽村市生涯学習センター ゆとろぎ (住所 羽村市緑ヶ丘1-11-5)
登録費 1,000円(ゆとろぎ交流会時の飲食代)
懇親会費 4,000円(21:50～ 中華料理 香蘭飯店にて)



～多用中とは存じますが、皆さまのご参加を心よりお待ちしております～
拡大友好委員会

例会の案内

2010年度我々福生青年会議所は、20名拡大するという大きな目標にメンバー一丸となって進みます。この目標は必ず達成しなければなりません！

入会予定者の皆さんにもっともって我々のことを気楽に知ってもらいたい！の思いから、福生の熱き入江理事長とメンバー全員の人柄・活動員を、一部では入江理事長と佐藤委員長との映像を交えた対談形式で、ではメンバー全員との交流会に知っていただき、共に活動する仲間を増やすために下記の通り拡大友好委員会第一回目の例会を開催いたします。

2月サロンのご案内

下記日時にてサロンを開催致します。今回は複数のテーマを基に参加者で様々な意見を出し合い議論を深めたいと思います。シニア、現役振るつての積極的な御参加をお待ちしています。
日時:2月23日(火曜日)20時～ 場所:事務局



副理事長 鳥居敬也

サロン報告

拡大友好委員会では佐藤委員長の発案のもと、現役メンバーとの交流及び新入会員の情報収集などを目的として肩こらない形でメンバーの集い場としてサロンを開催していくことになりました。

すでに昨年の中から数回開催していたものですが、1月は私が担当ということになりましたので、こんな事例では法的にはどのようなからといったお返事を気楽に解いてもらう企画を行いました。

結構意外な結論になる問題を用意しておいたのでも、頂いたメンバーには楽しんでいただけたのではないかと思います。

今後ともサロンは1年間継続して行う予定ですので是非皆様にもお気軽に参加していただきたいと思えます。

今月の誕生日

2月に誕生日を迎えるメンバー
寄口 裕司 君 2月1日生まれ
渡辺 淳 君 2月27日生まれ

◆今月のコラム◆

皆さま今月号の広報誌は如何でしたでしょうか？

2010年度初の広報誌という事も有り1月28日(木曜日)に行なわれた福生の賀詞交歓会を、新年の初めとして皆さまにご報告したいと思います。結果、編集作業に時間がかかってしまいましたが、お詫びに兼ね、まだ皆様のご記憶に新しい賀詞交歓会特集で広報誌を作りました。

また皆さまには大変ご迷惑を頂きました。入江理事長の所信表明を表紙面に載せました。

今年度総務広報委員会として広報誌を通して、皆さまに福生の活動を、報告致しますので、ご支援・ご提言のほどお願い申し上げます。新年最初の挨拶に代えさせていただきます。

総務広報委員会
副委員長 大寺 昭彦

第453回例会 福生青年会議所 新年賀詞交歓会



今年度の設置は名島委員長をはじめとする総務広報委員会、昨年の10月からの準備がやっと花開きました。事前登録から入国、送迎、受付にクロックに演出担当。総務だけでなく、LOMととなり、それがその役割を果たせたからと、今年度賀詞の成功に繋がったのだと思います。入江丸は順調に航海をはじめることができました。

また、本例会では17名の入会予定者の方々にお集まりいただき、2名の入会承認証伝達式を行いました。

2010年1月28日(木) 福生青年会議所にて、本年度最初の例会である1月例会・新年賀詞交歓会が米軍横田基地十音館ホールにて開催されました。多数の他LOMメンバー、シニアメンバー、来賓にお集まりいただき、中理事長の所信表明が発表されました。

入江理事長の人柄が、横田基地の希少性か、はたまた2400名の登録料の安さのせい、か、今回の登録は200名超。これは東京ブロック2100名の中でもトップに入りがはまっていたのではないのでしょうか。

その後、同会場にて新年賀詞交換会が盛大に開催されました。鏡割りあり、スロウカンと全メンバーの名前入りのケーキあり、巨大な肉の切り分けあり、横田基地ならではのボレーウムたぶりの料理が振る舞われました。ここでは、本年度を担う執行部および理事メンバーの紹介がありました。



このへスでいってしまったり、来年の賀詞はいいだ何人になつていこうと楽しみにします。本例会を開催するにあたり、広報部の岡部様をはじめとする、横田基地関係者の皆様には多大なる協力をしていただきました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

副専務理事 大山剛



2010年度 総務広報委員会の委員長を勤めさせて頂きます。名島と申します。まず、今回の広報誌の発送が遅れてしまいました事をお詫び申し上げます。さて、先日、我々福生青年会議所の賀詞交歓会が行われ、沢山の方々から、来場いただきました。今回の設置は我々横田基地で行わせいただき、LOMメンバーと横田基地広報担当に甚大な協力を頂き、LOMには無い、甚大な賀詞を行えました。「福生丸」入江丸、「手」を混池という大きな海原に出航させよう！と勝手にテーマを決めてしまい、メンバー全員力を借りておこなう行えたと思えます。今回の例会を通してLOMのメンバーの熱さ、心強さを感じ、これからの福生青年会議所を作り上げて頂きたい。B、C、Dの大きき、そして福生丸の立ち位置が感じ取れました。入会半年目の新人委員長ですが1年間お付き合いし、広報誌を楽しみにして頂けたいと思います。

総務広報委員会 委員長 名島健二

東京ブロック「新年賀詞交歓会」

1(11月)立川ハレスホテルにて、2010年度東京ブロック協議会、合同公式訪問ならびに新年賀詞交歓会が行われました。福生丸から直前理事長、理事長、専務を始めとして多数のメンバーが参加いたしました。

私は始めて東京ブロック協議会の新年賀詞大会に参加しましたが、会場の異常な熱気が最初びっくりしてしまいましたが、このころ、ご存知の方も多いのでしようが、東京中のLOMのメンバー達がこぞとばかりに参加する決起集会なのです。日本青年会議所、第59代相澤会頭の思いを聞き、39代東京ブロック協議会、川島会長らのわれ道を深す、道なくは道を拓く、というスロウカンの元、各委員会のメンバーの今年に懸ける熱い想いを聞き、つれ、徐々に私の気持ちもヒートアップ。最初は正直、ちょっと引気味でしたが、その熱さが心地よくなるまでに、(笑)懇親会で入江理事長が登場する際には、福生丸メンバー全員でのせいやーん！の掛け声で大声を出してしまっただけでもあり、お酒は最高でした。この一年を充実したものにしようと思っただけになりました。本年も宜しくお願いたします！

総務広報委員会 委員 渡辺淳



あきる野青年会議所 第153回例会「新年賀詞交歓会」



1月30日(水曜日)あきる野青年会議所の新年賀詞交歓会にて参りました。

第14代理事長 苗村 淳 一郎君の所信表明をかわきりに、来賓祝辞では参議院議員、都議会議員、各市長並に高町会頭の安里 繁信氏もサプライズゲストとしてお招きしました。他の来賓者では教育関係者も多数お招きしているのが目に残っております。盛大且つ勉強になる新年賀詞交歓会を拝見して、貴重な時間を過ごせました。また苗村理事長の「すべては感謝から」をスロウカンに「明るい豊かな社会の創造を掲げております。所信表明もさることながらスロウガンも大変心地のいい響きと思いませんか？」

私はまさにこの経済情勢の中、初心を帰るといふ事が必要だと確信しております。また先日福生青年会議所の賀詞交歓会も終わり、入江理事長の所信表明並びに今年度のスローガンである「志一人ひとりの情熱を持って」福生丸も入江理事長の下、今年度の理事長所信スロウガン共に念頭に置き確実に一歩一歩進んで参りたいと思っております。

総務広報委員会 副委員長 大申 昭彦

(他)日本青年会議所 2010年度 京都会議



総務広報委員会 斎 猛明